

第1回「乙訓 地方自治研究集会」

日時 2008年2月24日(日)

午前9時30分受付開始 10時開会

場所 大山崎ふるさとセンターにて

第 部 講演 地方自治の危機をどう克服するか
住民のくらしと地方自治を考える

講師 小森治夫さん(京都橘大学文化政策学部教授)

大山崎町長の真鍋宗平さんからメッセージ

昼休みのお知らせ

弁当は500円で用意できます。希望の方はあらかじめ乙訓地協へ申し込んでください。

当日受付でも申し込みいただけます。

アトラクションを予定しています。



第 部 分科会 午後1時～4時

おおいに語ろう、おおいに知ろう乙訓を
四つの分科会で乙訓を分析

- * 保健・医療・福祉分科会
 - * 食と食育を考える分科会
 - * 子どもの育ち分科会
 - * 水と緑とまちづくり分科会
- (裏面をお読み下さい)

いまはじまっている福祉・医療などへの負担増や、地方財政の切り捨ては、住民生活と地方自治体にさまざまな困難と矛盾を広げています。地域住民のくらしをまもる組織である地方自治体、その基本は住民自治の活性化といわれています。地域に愛着を持って、住み続けられる『まちづくり』に加わらないと住民自治の真剣な運動にはなりません。そのためには地域を知ることが不可欠です。

こんな思いから地方自治を考え、地域を知る、「乙訓 地方自治研究集会」を開催することになりました。

あなたのご参加をお待ちしています。

主催 乙訓地協(向日市職労気付 921-4486) : 後援 京都自治労連(801-8186) (参加資料代 300円)

保健・医療・福祉分科会

助言者 山本繁さん(元尼崎市医務監)

医療・福祉構造改革の中で、後期高齢者医療制度、特定健診・保健指導、自立支援法等の問題点や課題を報告してもらい、社会保障について考えましょう。



食と食育を考える分科会

助言者 谷口恭子さん(栄養士)

生産者、消費者から報告、食の実態、食は安全か、民間委託後はどうなっているか

昨年一年間を表現する漢字は「偽」 食品をめぐる偽装が次々と 次代を担う子どもたちに、より豊かな食を まともな食生活を いっしょに考える

「乙訓自治研がめざす こどもの笑顔 住みよい環境 生き生きとした暮らし」

子どもの育ち分科会

助言者 土居真さん(医療少年院院長)

子どもの育ちにとって、今何が必要なのか。

保育所・学校・学童保育所でみせる子どもの姿を出し合い、みんなで考えましょう。

水と緑とまちづくり分科会

助言者 竹林光美さん(建築家)

向日市北部まちづくり考える会、長岡京市「水の会」、大山崎「まちづくり運動」

乙訓のまちのそこ、ここで、なにがおこっているのか

乙訓のまちはどんな「まちづくり」をめざすのが良いのか

JR山崎駅から徒歩5分 阪急大山崎駅から徒歩2分
大山崎ふるさとセンターは有料駐車場です、できるだけバスや阪急電車等でご参加下さい。

